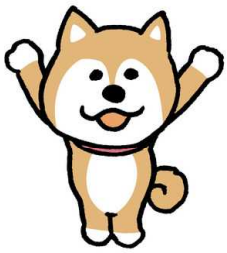
大仙市立太田南小学校　学校報

あかまつ

令和３年度
第９号
令和３年５月７日

《学校教育目標》夢に向かって 本気で チャレンジ！ 笑顔の花さく 南っ子

STAY　AKITAで　リフレッシュ!!



皆様，今年のゴールデンウイークはいかがお過ごしだったでしょうか。例年であれば，楽しみでたまらない連休ですが，おそらく人混みにはあまり出ないようにと，ドライブ程度といったおうちもあったかもしれません。皆さんのこうした我慢の行動のおかげで，学校が通常通りの日々を迎えることができています。ありがとうございます。

昨日から子どもたちの声が響き渡り，学校の中が一気に明るくなりました。みんな元気そうで安心しました。今後も安心・安全に気を付けながら，子どもたちと一緒にがんばっていきたいと思います。

ご家族の皆様には，連休中，子どもたちの生活や学習へのご支援ご協力をいただき，重ねて御礼申し上げます。これからも，「マスクの着用」「手洗い・うがいの励行」「不要不急の外出自粛」等の感染防止対策を続けてくださるようお願いいたします。

さて，５月のテーマは，
「笑顔いっぱい～楽しく学習，元気に運動～」です。
新しい学年，希望に燃えてスタートした４月をもう一度思い起こし，諸活動を軌道に乗せていく季節です。

「軌道に乗せる」という意味で，子どもたちには「よい習慣を身に付けさせたい」と思っているところです。

●よいあいさつの習慣　●よい返事の習慣　●よい体力づくりの習慣
●よい学習態度の習慣　●よい家庭学習の習慣　●よいお手伝いの習慣　……

例えば飛行機は，空港を飛び立つとき，燃料の３分の１も使ってしまうと言われています。止まっている状態から飛んでいる状態に変化するとき，とても大きなエネルギーを必要とするということです。「よい習慣」に話を戻すと，人間も，そのときの状態を変化させるときとても大きなエネルギーを使います。ところが，あいさつでは，いつも大きな声であいさつできている人はそれが簡単にできます。また，学習の習慣ができている人はテレビを見ていても「あれ？」「なんだろう？」「気になるから調べてみよう」と頭の中でいつも考えています。だから，勉強することに全く抵抗がありません。それに対して，ゲームばかりに夢中になっている人は，椅子に座るだけでヘトヘトになってしまうのです。お手伝いや運動習慣も同じです。

あいさつ・返事・勉強・運動等々を「いつもやり続けること」が大事だというわけです。自分を変えていくための「チャレンジ」をさせたいもの。そして私たち大人は「チャレンジ」をして「やり続ける」子どもたちを励ましていきたいものです。

「とらい　はばたき　なかよししゅうかい」１・２年生の交流から

４月 30 日（金）は，１・２年生の交流「とらい　はばたき　なかよししゅうかい」でした。１年生は「学校の様子を知って，楽しく安心して遊びや生活ができるように」というねらいで，２年生は「入学して３週間の１年生ともっとなかよくなろう，学校生活の楽しさを伝えよう」というねらいで行われました。

司会やルール説明，学校案内や学校クイズ作成も全部２年生です。しっかりお兄さんお姉さんぶりを発揮してくれました。このような学習を通して，中学年，高学年へと成長していくのだなと感じました。

「笑顔」と「思いやり」がいっぱいの会でした。

また，昨日５月６日（木）には，１・２年生が横沢公園に出かけました。春から初夏にかけての季節の生き物を探したり，触れたり，親しんだりするというねらいです。交通ルールを守って落ち着いて歩くということや遊具で遊ぶときは順番を守ったり，他の人の気持ちを考えたりすることも学びます。

青空の下，半袖になって生き物探しに夢中になったり，思い切り遊んだりする子どもたちの姿がありました。心地よい陽気に子どもたちも楽しみながら活動していました。「黄色い花」「紫の花」「白い花」・・・いろいろありましたが，子どもたちが興味津々だったものはやはり動くものです。アメンボやダンゴムシ，アマガエル，モンシロチョウにアゲハチョウ，中にはヘビの穴をつつく強者もいました。植物，生物，風，匂い，体全体でいい季節を感じてきました。

子どもたちの元気な姿，やはりいいものですね！　（昔は横沢公園でイバラトミヨ（絶滅危惧種ⅠA）を観察できたのですが，昨日は姿が見えませんでした。巣作りの最中なのか，あるいは…？）